

とらぬい



三ツ石の初日の出

神奈川県の実鶴半島『かながわ景勝50選』に選定された名勝『三ツ石』です。
最も美しい日の出が拝める事が出来るスポットとして全国的に知られる景勝地です。

フォトサークルA 佐伯 四郎

●目次

三ツ石の初日の出	1P	手術支援ロボットダビンチXi導入決定	5P
新年のごあいさつ	2P	第2事業部 介護老人保健施設さつきの里あつぎ	
理事長 野村 直樹 院長 北野 義和		かけはし ~登録医紹介~	6P
感染対策講演会	3P	たんぼかかしとうじょう がん相談支援センター	
地域連携フォーラム		歳時一覧	7P
リハビリ通信 身体活動量・運動	4P	ペットのはなし	8P
医療安全講演会		編集後記 関連施設一覧	



新年あけましておめでとうございませす



三思会 理事長
野村 直樹

西暦2024年あけましておめでとうございませす。
旧年申は多くの皆様よりご指導、ご支援をいただき心より御礼申し上げます。

長引くロシアとウクライナの戦争、新しくはイスラエルとハマスの戦争に心が痛みませす。来年は2025年問題と称される超高齢社会に突入するとともに、本邦は戦後80年を迎えませす。ほとんどの方たちが戦争を知らない国として、これからは新たに戦争というものを考えなくてはいけない時代に入るのかもしれませせん。

また昨年秋は秋がなかつた。いつまでも暑い年でした。この地球温暖化も私事として、我々みなで考えなくてはいけないのです。明らかに多くの種類の魚たちは、その住処を変えています。

さて本年、東名厚木病院はダビンチ（ロボット）手術が稼働しませす。がん診療連携指定病院推進の一環として昨年導入したもので、ダビンチ手術の第一人者の先生を招聘し、安全で繊細な手術を提供できるものと思つていませす。病理室も作業拡大し、がんの診断治療に貢献したいと思ひませす。介護部門は、2025年問題を間近に控

えた中での対応になると思ひませす。

健診部門は健診需要がますます高まる中で、新横浜の健診センター（SYM S）のビル4階フロアに加えて、3階のスペースにも拡張しませす。

透析部門は3か所の透析センターに加え、新たな透析クリニックを建築中です。建築会社とコラボして、我々はその一部を店借する形でマンションにお住まいの方がマンション内で透析ができる新しいコンセプトとしての事業を展開しませす。通院が困難な透析患者様が確実に増加する中で、在宅に近い形での透析事業は必ずお役に立てるものと思ひませす。興味のある方、質問がある方は声をかけていただければ幸いです。

外来診療部門は、とうめい厚木クリニックと厚木市の事業と一つとして協力させていただきたとうめい宮の里クリニックを同じ事業部として、それぞれの地域に応じた外来診療を展開していききたいと思ひませす。

最後にミャンマー事業です。再稼働1年強ですが、しつかり立ちできる環境になりました。ミャンマー国内事情にはまだ不安があるところですが、日本の医療技術が緬国で貢献していることをご報告させていただきます。

これからも社会地域のことを大切に思ひ、我々ができること、我々がやらなければいけないことを愚直に考え、行動していきたいと思ひませす。

皆さんと共にこの西暦2024年がよい年になることを祈念しませす。



院 長 義和
北野

新年あけましておめでとうございませす。

2023年は日本でも新型コロナウイルス感染症が感染症法上の第5類に位置づけ（格下げ）され、人類とコロナの戦いはいまだ休戦を迎えたものと思われませす。世間一般的には通常の生活を取り戻しつつあり、そのことは非常に喜ばしい状況であると思ひませす。しかし、それでもやはり新型コロナウイルスがなくなつたわけではなく、病院としては感染者が発生した場合には隔離などの対応が必要になります。実際、特に油断していたわけではありませせんが、当院も院内クラスターに見舞われませました。やはり1例発生すると、そのまま周囲に拡散するという形態には変化はありませせん。しかし、高齢者といつても重症化することはほとんどありませんでした。いわゆる感冒ほどの症状も出ない患者さまもいませました。すでに重症度としては感冒以下であるのかもしれませせんが、医療機関である以上は対応せざるを得ないため、人員も労力も、そしてコストも莫大です。病院運営の立場からは、治療も対症療法が中心であるなら感冒と同様と扱つていただきたたいという気持ちも隠せませせん。とはいえ変異株の問題、少ないものの高齢者での重症化するリスクの問題、そして後遺症の問題

などは残つており、まだまだしばらくwith コロナの状態は続くものと思ひませす。

さて、当院は本年も地域医療支援病院としての役割を担いつつ、救急医療とがん治療の両輪に力を入れていく所存です。特にがん治療は地域医療構想のもと、診断から治療そして緩和ケアに至るまで、この県央医療圏内で完結することを目標として取り組んでいます。当院では、さまざまなステージの患者様を受け入れており、特に当院の緩和ケア病棟は、いわゆる“終の棲家”ではなく、在宅復帰までも視野に入れて診療にあたつていませす。緩和ケア病棟に入院しても、在宅復帰も含めて多職種が協力し、ご本人・ご家族と話し合つて今後の生活をどうしていくことが最善なのが検討していませす。また、外来での化学療法や放射線治療にも力を入れており、特にがんの症状緩和を目的とする緩和照射を行っていることも当院の特色の一つです。これまでも多くの医療機関より患者様をご紹介して頂いておりませす。今後も、がん拠点組織としての責務を果たし、さらに精進していききたいと思ひませすので、引き続き宜しくお願ひ申し上げます。

最後になりますが、本年も東名厚木病院は、地域支援病院としての誇りと責任を持ち、チーム医療で医療の質を高く担保し、地域住民の皆様ならびに医療機関の皆様に一層信頼され、愛される病院を目指していきたいと思ひませす。当院の理念を胸に、今後も職員一丸となつて頑張りますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

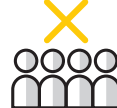
感染対策の講演会開催

2023年10月12日に第1回感染対策委員会の講演会が開催されました。

テーマは「病院で問題となる薬剤耐性菌」で、鶴巻温泉病院の感染管理室室長、近藤成美先生に講演いただきました。医療関連感染がどこから来るか？感染制御の基軸と成るものから手指衛生・標準予防策、環境整備の徹底、抗菌薬の適正処方への推進とヒトに感染を起こす代表的な菌について講演いただきました。

講師の先生はオンラインでしたが、人数制限をしてお集まりの会場での集合研修は3年ぶりでした。専門的な内容もありましたが、わかりやすく講演いただき大変有意義な講演会でした。

院内感染対策室



地域連携フォーラム

第5回目を迎えた地域連携フォーラムを2023年11月2日（木）にレンブラントホテル厚木にて開催しました。

症例報告では、当院の消化器内科、乳腺外科、緩和ケア内科より実績報告や診療科の紹介をさせていただき、来場者の興味深く聞き入る様子が見られました。

招待講演は、北里大学病院の泌尿器科、主任教授・科長の岩村正嗣先生に「外科手術の発展と未来展望～ロボット支援手術がもたらす未来予想～」と題して、主に手術支援ロボット「ダビンチ」の可能性に関してご講演をいただきました。

現在、全国の多くの病院で行われている腹腔鏡手術は、従来の開腹手術と比べて身体に加わる負担が少ない＝体に優しい、と考えられ広く普及しています。ダビンチ手術はこの腹腔鏡手術を、ロボットの優れた技術を取り入れて行うもので、今までの腹腔鏡手術の利点をさらに向上させることができます。

ロボットによる手術をおこなうことで、人間では20年近くかけて習得していた複雑で細かい技術を必要とする手術が、数年修行することで可能となるそうです。加えて、3次元による正確な画像情報が確認できるため、より安全かつ身体への負担の少ない手術が可能と

なり、今一番注目されている分野です。

ロボット支援で行う手術操作は、実際の手の動きが器具に忠実に反映され、術者が考えた通りの操作が可能です。人間の手以上の自由な動きができるため、とても細かい動作が可能になります。特に骨盤の深いところを操作するような前立腺がん、直腸がん、子宮がん手術などでは、より繊細な操作がより簡単に行えます。このように、多くの利点があることを実際のデータを示しながら話していただきました。

講演の最後に、当院にもダビンチが導入され、2024年4月に泌尿器科領域の手術から開始していくことが発表されました。

その後の懇親会では、お集まりいただいた約100人の出席者の皆様と直接お話しする機会をいただき、盛会のうちに終了することができました。

お互いの顔が見える関係を大切にした東名厚木病院地域連携フォーラムは、来年も11月に開催する予定です。



リハビリ通信 第66回

身体活動量・運動

日本では、家事や仕事の自動化、交通手段の発達により、身体活動量が年々低下してきていることが明らかになっており、食生活の変化とともに、近年の生活習慣病増加の一因となっています。一方、身体活動量が多い方や、運動を良く行っている方は、虚血性心疾患、高血圧、糖尿病、肥満、骨粗鬆症、がんなどの罹患率や死亡率が低いこと、また身体活動や運動がメンタルヘルスや生活の質の改善に効果をもたらすことが認められています。

更に高齢者においても歩行など日常生活における身体活動が、寝たきりを減少させる効果のあることが示されています。身体活動量は「身体活動の強さ×行なった時間」の合計ですが、日常生活のちよつとした工夫・意識で増加させることが出来ます。具体的には、通勤・買い物で歩くことや階段を上ること、運動・スポーツを行う事など身体を動かす事を日常生活に取り入れることです。また、数値目標があると継続につながりやすいと思いますので、ここで少しだけ紹介します。

「健康づくりのための身体活動基準」によると、1日の身体活動量を10分増加すると、生活習慣病や生活機能低下リスクを3.2%軽減することが期待出来ると言われています。また、「1日1万歩歩くことが健康に良い」と聞いたことはないでしょうか？海外の報告では、1週間に2000Kcal以上エネルギーを消費する身体活動が健康増進に推奨されています。これを歩くことで考えてみると、例えば体重60kgの人が、時速4km(分速70m)、歩幅70cmで10分歩く(700m、1000歩)場合を計算すると、消費エネルギーは30kcalになります。つまり1日あたり300kcalのエネルギー消費は1万歩に相当します。みなさんも今より毎日10分ずつ長く歩いてみてはいかがでしょうか？

リハビリ科
シヨン科
橋本 健太郎



2023年度

第2回 医療安全講演会を12月12日に開催しました



安心

■テーマ 患者の視点に立って医療安全を考える

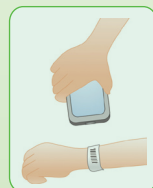
■講師 上尾中央総合病院
特任副院長 長谷川 剛先生

今回は、長谷川先生ご自身の病者体験から見えた風景と患者としての思いを基に、患者参加、医療倫理の原理、医療者と患者・家族の間にあるものについてご講演いただきました。

講演の中で、「痛くて苦しくて早く治療してくれ」と思っている時に「名前」を何回も確認され「自分の事はみんな知っているだろう」とか、色々な場面で待たされる事があり、待たされる患者にとってはたとえ数分でも長く感じるなど、患者として体験された事を踏まえてお話されました。

第1回目の講演会でも「見ているものは同じでも見えているものは違う」というお話がありました。今回の講演でも「立場によって見え方が違う事を理解する必要がある」とのお話があり、表現は違いますが「相手の立場に立った視点で物事を見る・考える事」の大切さを学びました。理屈ではわかっている中々できない事もあります。先生は、もやもやする時には医療倫理の四原則で考えると良いと話されていました。医療倫理に則り、相手に感心を持ち医療者と相手が互いに語り合う事が、ベストを尽くす事になると感じました。

今後も相手の思いに心を寄せ、傾聴と対話を意識した行動を実践の場で活かしていきたいと思えます。



社会医療法人社団三思会 東名厚木病院
医療安全管理室 蒲谷朱希子・竹田英子

2024年4月より、 手術支援ロボット「ダビンチXi」導入決定

ダビンチは、最先端技術を用いて、患者さんへの負担を最小限に抑え、手術を安全かつ確実にを行う為に開発された手術用ロボットです。

ロボットと言っても、機械が自由に手術をするのではなく、執刀医が患者から離れたサージョンコンソールと呼ばれる操縦席に座りロボットアームを駆使して内視鏡手術を行います。執刀医は、手術部位を約10倍に拡大された3Dモニターを見ながら、コンピューターによる手振れ防止機能の備ったロボットアームで、安全かつ正確に手術が行われます。

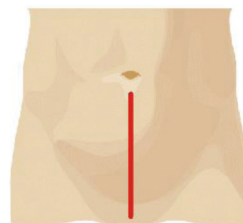
開腹手術に比べて、腹部に1カ所5-12mmの小さな穴

をあけて手術を行いますので、術後の痛みが少なく回復も早く、傷も目立たない利点と術中の出血量が抑えられます。

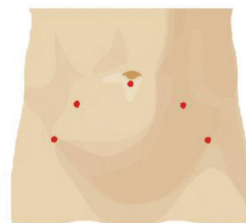
当院では、2024年4月より、前立腺全摘手術より開始します。

詳しくは、「とうめい厚木クリニック

泌尿器科外来」にお問合せください。



開腹手術における
切開部



ダビンチ手術における
切開部

第2事業部

第34回

♪ 全国老人保健施設大会 IN宮城 ♪



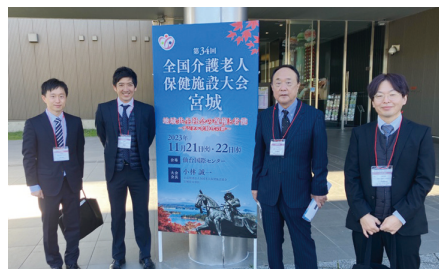
2023年11月21日から22日の2日間にわたり、宮城県の仙台国際センターにおいて「地域共生社会の復権と老健～デジタル化時代の絆～」をテーマに第34回全国介護老人保健施設大会が開催されました。

当施設からは、大野甲介さん（療養棟介護課 介護福祉士）が「特殊浴槽入浴者の増加に伴う業務改善から得られたこと」をテーマに、施設における業務改善と効率化について発表しました。発表では、施設利用者の介護の重度化で業務効率が低下したことを課題と捉え、入浴業務の改善の取組について報告しました。座長からは「今回は入浴についての取組だったが、今後の課題はあるか」と質問があり、大野さんから「食

事介助についても見直してみてもどうか」と考えています」と応答しました。「難しいと思っていたことも、職員がチームで取組むことで達成できる」と熱いメッセージを送ることができました。

一人でも多くの利用者に質の高いケアを提供することと業務の生産性を向上させることは、介護の価値を高めることにつながります。今後も学会発表に積極的に参加し、日頃の業務改善の取組を発信することで保健・医療・介護・福祉の専門性の向上に努めてまいります。

文責 志智 永



かけはし 登録医紹介

vol.46

ほんあつ胃腸科・内科クリニック

《所在地》

〒243-0014
神奈川県厚木市旭町1-25-1
本厚木ミハラス2F
電話 046-229-4341

院長 新井 英二



はじめまして。2023年5月10日より本厚木駅南口ビル本厚木ミハラス2階に「ほんあつ胃腸科・内科クリニック」を開院させていただきました。僭越ながら今回はこのような執筆の機会をいただいたので当クリニックの存在意義と私の考え方について少しご紹介させていただければと思います。

私たちクリニックの特徴は患者様一人一人に“ちょうどいいと感じていただける医療”の提供を目指します。5年、10年後までを意識し安心して健康で豊かで生活できるように個々のヘルスケアを全面的にサポート致します。現在の医療はコロナ時代を背景に変革の最中にあり、今後も患者様を含め我々の生活や仕事も様々な変化を求められており、その中で何が正解なのか、どうしたら自分が安心して健康で豊かでいられるのかと悩まれている患者様は多くいらっしゃいます。そのような健康と向き合おうとする姿勢に向き合い、悩みを一つずつ吸い上げ、情報を整理をして問題点を共有しクリアしていくことが理想的な医師と患者の関係性だと信じております。

本厚木という土地には東名厚木病院をはじめ複数の中核病院が存在致しますが、最初にクリニックを尋ねてくるのが少なくありません。とりわけ駅近の立地ですので一層その傾向を強く感じております。

親子2代に渡り、中核病院への“玄関口”それから“繋ぎ”の役割、そして帰ってくる場所として存在し続けたいと考えております。今後とも医療連携のほどよろしくごお願い申し上げます。



がん相談支援センターだより



10月14日(土)アミューあつぎにて東名厚木病院がん相談支援センター主催がんサロン「ここが知りたい!医療講座 カラダの声を聞いてみよう」が開催されました。講義では消化器内科玉置医師による消化器がんについての講演とがん相談支援センターのご紹介を行いました。当日ご参加頂いた方は43名とほぼ満席状態で、お買い物のついでに立ち寄ってくださった方やのほりを見て興味を持ってくださった方もいらっしゃいました。地域に出て医療講座を開催することで、東名厚木病院のことをもっと身近に感じて頂けるのではないかなと考えています。

次回のがんサロンは3月16日(土)、緩和ケア内科の飯田医師より「緩和ケア」についてご講義頂きます。くわしいお知らせはまたホームページや院内掲示にてお知らせ致しますのでご期待ください。



かかし

とうめい保育室

たんぼかかしとうじょう




今年も老健さつきの里あつぎに近い田んぼに、かかしが登場しました。とうめい保育室の卒園記念制作として作られたかかしは、「はらぺこあおむし」の絵本をテーマに作成され、今年度卒園する園児5名が登場しました。一人一人のかかしは、本人直筆の絵が描かれたTシャツを着ており、表情豊かなかかしたちが地域の方や小田急線に乗車しているお客さんを楽しませていました。

かかしの作成は今年で3年目。毎年たんぼを提供して下さっているのは、納涼祭のSLでもおなじみの関さんです。いつもご協力ありがとうございます。



令和5年 歳時一覽

主な院内行事	
1	<p>特別養護老人ホームはなの家とむろ 開設11周年 愛川クリニック 開設10周年 介護老人保健施設なでこの里リハビリ ひらつか 開設4周年 BLS研修</p>
2	<p>とうめい厚木クリニック 開院21周年 Yangon Japan Medical Centre 開設 4周年 2022年度第2回安全・感染・倫理に関 する研修会（外部業者向け） イブニングセミナー 「医療放射線 正しく知って正しく恐 れる～東名厚木のラジハ～」 防災訓練/安否確認サービス（テスト送信） ICLS研修</p> <p>講師：放射線技術科 小野沢 辰之技師</p>
3	<p>訪問看護ステーションもみじ 開設24 周年 とうめい綾瀬腎クリニック 開設6周年 CPC臨床病理検討会 初期臨床研修了式 BLS研修</p>
4	<p>訪問看護ステーションさつき 開設28 周年 南毛利地域包括支援センター 開設17 周年 マザーホーム戸室 開設7周年 新入職員オリエンテーション 2022年度総括・2023年度目標発表会 三思会杯 ミニバスケットボール BLS研修</p>
5	<p>全館停電検査 診療部(各科) 目標発表会 職員献血 BLS研修</p>
6	<p>東名厚木病院 開院42周年 東名厚木メディカルサテライトクリニ ック健診センター 開院31周年 透析センター 開設37周年 ICLS研修 イブニングセミナー 「夜間頻尿のお話」</p> <p>講師：藤城 貴教 医師</p>
7	<p>納涼祭 BLS研修</p> 

主な院内行事	
8	<p>居宅介護支援センター 開設24周年 イブニングセミナー 「たかがヘルニア されどヘルニア」 防災訓練/安否確認サービス（テスト送信） BLS研修 保険診療に関する研修会</p> <p>講師：田澤 賢一 医師</p>
9	<p>介護老人保健施設さつきの里あつぎ 開設 26周年 BLS研修 医療安全講演会 「患者・家族への十分な説明のあり 方」 Web開催</p> <p>講師：山梨大学医学部 附属病院 医療 の質・安全管理部 特任教授 荒神 裕之 先生</p> <p>三思会杯 ソフトボール大会</p>
10	<p>マンモグラフィサンデー（東名厚木メ ディカルサテライトクリニック） イブニングセミナー 「心不全治療について」 介護職員初任者研修 （さつきの里あつぎ内 あつぎ介護職員研 修センター/2023年12月8日まで） 院内感染対策講演会 17：30～ 「病院で問題となる薬剤耐性菌」</p> <p>講師：石川 沙羅 医師</p> <p>がんサロン「ここが知りたい！医療講座 カラダの声を聞いてみよう」 ICLS研修</p> <p>講師：鶴巻温泉病院 感染管理室室長 近藤 成美先生</p>
11	<p>宮の里クリニック 開設1周年 地域連携フォーラム 三思会活動発表会 三思会杯 厚木市招待第4種サッカー大会 臨床病理検討会 BLS研修</p>
12	<p>新横浜メディカルサテライト 開院8周年 緩和ケア研修会 イブニングセミナー 「緩和ケアへのShared Decision Making～再発進行癌 抗癌剤する？ しない？～」 医療安全講演会 Web開催 「患者の視点に立って医療安全を考える」</p> <p>講師：飯田 哲士 医師</p> <p>講師：上尾中央総合病院 特任副院長 長谷川 剛先生</p> <p>JCEP受審 糖尿病教室 「糖尿病を正しく知って共に歩もう」 職員献血 BLS研修</p>

編集後記



●お正月の富士山です。この迫力は地元静岡の自慢です♪
(ピッキー)



●そうだか二食へ行こう (おちやがかり)



●偶然出会った、横浜山手 諏訪神社の「花手水」(はなちようす)です。眺めるだけで、清らかな気持ちになります。(クッキー3)



●今年も旅行に行きますように!まずは干支にまつわるお寺かな。(豆大福)

各施設の連絡先

東名厚木病院

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-228-0396
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>

とうめい厚木クリニック

〒243-0034 厚木市船子237
TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935
<https://www.tomei.or.jp/clinic/>

透析センター

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-229-1939
<https://www.tomei.or.jp/toseki/>

愛川クリニック

〒243-0303 愛川町中津2035-1
TEL.046-284-5225 FAX.046-284-2772
<https://www.tomei.or.jp/aikawa/>

とうめい綾瀬腎クリニック

〒252-1107 綾瀬市深谷中1-8-20
TEL.0467-70-1115 FAX.0467-70-2115
https://www.tomei.or.jp/ayase_clinic/

とうめい宮の里クリニック

〒243-0216 厚木市宮の里1-2-9
TEL.046-280-6222 FAX.046-280-6227
https://www.tomei.or.jp/miyanosato_clinic/

東名厚木メディカルサテライトクリニック 健診センター

〒243-0034 厚木市船子224
TEL.046-229-1937 FAX.046-227-0677
<https://www.tomei.or.jp/tams/>

新横浜メディカルサテライト 健診センター

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-11 金子第一ビル4F
TEL.045-471-3855 FAX.045-471-3856
<https://syms.tomei.or.jp>



●無料送迎バスを運行しています。
詳しくはホームページの
無料送迎バス時刻表をご覧ください。
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>

ペットのはなし その76



我が家に住んでいる愛猫のゆずくんです。私が小学5年生の時から一緒に住み始めてもう13歳のおじいちゃんです。当時は、両手に乗るほど小さくか弱いののにその年の3月に東北大震災があり家に一匹お留守番だったので不安のまま帰宅し、無事を確認してホッとした記憶があります。

そんなゆずくんも成長することに悪戯が増えていき、しっかりヤンチャボーイになりました(笑)。私もまだ子供だったので猫相手に喧嘩になったこともありました。それも全て良い思い出です(笑)。

今は老猫なので、ヤンチャボーイからしっかりおとなしくなり、落ち着いて暮らしています。それも今では少し寂しい気持ちです。これからもご飯をしっかり食べて元気でいてほしいです。 M・A



介護老人保健施設 さつきの里あつぎ

〒243-0034 厚木市船子322-1
TEL.046-227-1188 FAX.046-227-0033
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/roken/>

介護老人保健施設 なでしこの里 リハビリひらつか

〒254-0016 平塚市東八幡4-19-3
TEL.0463-23-7045 FAX.0463-22-4187
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/nadeshiko/>

厚木市南毛利地域包括支援センター

〒243-0039 厚木市温水西2-27-38 カーネーションパーク1階
TEL.046-250-1108 FAX.046-250-1105
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/houkatu/>

訪問看護ステーション さつき

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-228-6556 FAX.046-228-6557
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/satuki/>

訪問看護ステーション さつき サテライト愛川

〒243-0303 愛甲郡愛川町中津3529 スズキビル2F 202号室
TEL.046-284-6677 FAX.046-228-6688

東名厚木病院居宅介護支援センター

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-227-6557 FAX.046-228-6557
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/kyotaku/>

複合型施設マザーホーム戸室

〒243-0031 厚木市戸室1-29-1
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/motherhome/>

1F 多機能型事業所「にじいろ」

TEL.046-222-7772

看護小規模多機能型居宅介護事業「いわしくも」

TEL.046-222-7773

2F 訪問看護ステーション「もみじ」

TEL.046-294-1177 FAX.046-294-1178

3・4F サービス付き高齢者向け住宅「マザーホーム戸室」

TEL.046-222-7755 FAX.046-222-7756